

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	商工業の振興
-----	--------

担当部局	担当部局長の氏名
商工観光部	中村基彦

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	I 交流経済都市
計画項目	(施策)	④ 商工業の振興
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	人口減少、少子高齢化が急速に進んでいる本市において、若者が帰ってきたくなるような活気ある故郷を目指し、新しい産業の育成、働く場所の確保、提供が可能となるよう商工業の振興を目的とした施策を展開する。

めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)		前期基本計画最終実績値		目標	
商業の販売力を高めます		年間販売額	104,050百万円	H16	101,441百万円	H19	120,000百万円	H26
		購買力流出率	79%	H16	84%	H19	100%	H26
工業の生産力を高めます		工業従業者1人当りの出荷額	13,956千円	H15	17,874千円	H20	20,000千円	H26
		事業所数(従業者4人以上)	282件	H15	253件	H20	350件	H26

※参考 後期基本計画 めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)		後期基本計画策定時		目標	
商業の販売力を高めます		年間販売額	104,050百万円	H16	101,441百万円	H19	120,000百万円	H26
		購買力流出率	79%	H16	84%	H19	100%	H26
工業の生産力を高めます		工業従業者1人当りの出荷額	13,956千円	H15	17,874千円	H20	20,000千円	H26
		事業所数(従業者4人以上)	282件	H15	253件	H20	350件	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 新たな産業おこしの推進	1 機械金属産業総合振興事業費補助金	1,600	810	○	○	見直し	縮小	商工
	2 集積活性化・販路開拓支援補助金	0	0	—	—	—	—	商工
	3 商工業支援事業	3,571	3,571	○	○	維持	拡大	商工
	4 商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補)	5,157	5,157	○	○	維持	維持	産業
	5 地域総合整備資金貸付事業	407,000	0	○	○	維持	維持	商工
	6 起業アイデアコンペ開催事業	1,244	814	○	▲	見直し	縮小	商工
	7 産学連携コーディネート事業	365	365	▲	○	維持	維持	商工
	8 産学連携推進事業	275	275	○	○	維持	維持	商工
	9 地場産業経営革新等対策事業	214	214	×	×	見直し	拡大	産業
	10 人材育成事業	19,212	19,212	○	○	維持	維持	産業
2 各産業の連携の強化(四位一体型)	11 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金	31,140	31,140	○	○	維持	維持	産業
	12 企業誘致雇用創生促進事業	2,935	2,935	×	×	維持	維持	産業
3 工業団地の造成と積極的な企業誘致	13 工場立地奨励金	9,086	9,086	○	○	維持	拡大	産業
	14 工業団地維持管理事業	79	66	○	○	維持	維持	産業
	15 工業用地造成事業特別会計繰出金	56,000	56,000	○	○	維持	維持	産業
	16 工業用地造成事業	529,388	388	○	○	維持	維持	産業
6 地元商業の振興と事業者への支援	17 指定管理施設運営事業	4,133	4,133	○	○	維持	維持	商工
	18 商工会助成事業	95,040	95,040	○	○	見直し	維持	商工
	19 信用保証料補助金	120,419	120,419	○	○	維持	維持	商工
	20 あんしん借換資金等利子補給事業	247,952	247,952	○	○	維持	維持	商工
	21 あんしん雇用環境づくり事業	135,286	100,586	○	○	維持	維持	産業
	22 商工業活性化交流事業	2,000	2,000	○	▲	維持	縮小	産業
7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振	23 和装産地関連事業負担金	80	80	○	○	維持	維持	商工
	24 ちりめん関連事業補助金	1,440	807	○	○	維持	縮小	商工
	25 丹後ファッションウィーク開催委員会補助金	7,857	4,057	○	○	維持	維持	商工
	26 織物業実態統計調査事業	105	105	○	○	維持	維持	商工

興	27	シルクのまちづくり市町村協議会設立経費(H21)シルク	484	484	○	○	維持	拡大	商工
	28	峰山織物センター管理運営事業	3,248	3,035	○	○	維持	維持	商工
	29	バイオファイバー活用型丹後ちりめん新展開事業	6,540	5,021	○	○	廃止等	—	産業
	30	国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業	0	0	×	×	廃止等	—	産業
	計		1,691,850	713,752					



**CHECK**

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか		
	○	◎ 予定以上に進んでいる	理由 各施策とも順調に実施することが出来たが、工業団地造成事業については想定外の事態が発生し当初予定より工期が遅れた。また、企業誘致事業については、世界同時不況の影響により事業実施が遅れた。
		○ 予定どおり進んでいる	
		▲ 少し遅れている	
		× 大幅に遅れている	
	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
	○	◎ 有効であった	理由 現在の世界不況のなか、即効性のある施策とはならなかったが、中長期的な考え方の中では、将来を見据えた施策としては十分に効果があった。
		○ おおむね有効であった	
		▲ あまり有効でなかった	
		× 有効でなかった	
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業8、10、14、15、17)			
優先度 高い	事務事業		理由
	3	商工業支援事業	沈滞する市内経済活性化の方策として起業、新商品開発等への支援は最重要課題である。
	13	工場立地奨励金	これから進めていく企業誘致対策への重要な施策(地域間競争に勝つため必要)
	25	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金	京丹後市の基幹産業である織物業に対する官民挙げての事業への支援
	4	商工業支援事業(製造・加工業経営革新等推進事業補助金)	経営体力の弱い市内起業の経営基盤強化、異分野進出への支援策
	20	あんしん借換資金等利子補給事業	商工業者の経営安定向上を図る上で、もっとも有効な支援策(企業から非常に喜ばれている)
	19	信用保証料補助金	商工業者の経営安定向上を図る上で、もっとも有効な支援策(企業から非常に喜ばれている)
	6	企業アイデアコンペ開催事業	入賞作品が市内業者により製品化されてきている。22年度から、参加を他の大学にも呼びかけている
	1	機械金属業総合振興事業費補助金	機械金属業の販路開拓等に非常に有効
	12	企業誘致雇用創生促進事業	工業団地竣工に伴う企業誘致に必要不可欠な事業
9	地場産業経営革新等対策事業	地場企業にとっては人材育成が喫緊の課題であり、体力の弱い企業を支援する必要がある。	
優先度 低い	事務事業		理由
	29	バイオファイバー活用型丹後ちりめん新展開事業	当初の目的は達成。今後は民間企業主導で実施を
	30	国産シルク連携丹後ちりめん新展開事業	当初の目的は達成した
	2	集積活性化販路開拓支援補助金	単年度の支援とすべきもの
	16	工業団地造成事業	今後は工業団地の販売に重点を置くべき
	24	ちりめん関連事業補助金	事業内容のマンネリ化。他団体との事業内容の精査が必要
	18	商工会助成事業	事業内容の精査。他団体との事業の重複等の精査が必要
	11	丹後地域地場産業振興センター運営補助金	職員体制に応じた事業の検討が必要
	22	商工業活性化交流事業	事業内容の精査が必要
	21	あんしん雇用環境づくり事業	経済が上向くなか、現状を把握した対応が必要
7	産学連携コーディネート事業	商工会が実施している事業と重複する内容がある。精査する必要あり	



**ACTION**

改善	今後の施策展開をどうするか
	本市の経済活性化にとっての喫緊の課題、中期・長期に展開していく課題の整理を行なうなか、予算の配分を考えていく必要がある。但し、関係団体、補助団体の意向を無視した予算付けは無駄なものとなる可能性があるため、今何が行政にも求められているのか慎重に検討しながら市の経済発展のため施策を展開していく。

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	観光の振興
-----	-------

担当部局	担当部局長の氏名
商工観光部	中村基彦

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	I 交流経済都市								
計画項目	(施策)	⑤ 観光の振興								
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	景況の悪化、レジャーの多様化により本市を訪れる観光客数は年々減少している。本市の基幹産業の一つである、観光業の復興を今考えていかなければ観光地間競争に遅れを取るようになる。新しい観光を提案することにより、京丹後市を訪れる観光客、宿泊客の増加を図る。								
めざす目標	500万人の観光都市をめざします	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>総合計画策定時(H17)</th> <th>前期基本計画最終実績値</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>200万人</td> <td>H16 1,721万人</td> <td>H21 500万人</td> </tr> </table>	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標	観光入込客数	200万人	H16 1,721万人	H21 500万人
指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標							
観光入込客数	200万人	H16 1,721万人	H21 500万人							

※参考 後期基本計画		指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標
めざす目標	観光立市の実現をめざします	観光入込客数	200万人	H16 182万人	H20 250万人
		年間宿泊客数	新規	- 46万人	H20 70万人
		年間外国人宿泊客数	新規	- 1,382人	H20 5,000人

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 「感動半島・京丹後」の実現	1 観光協会等支援事業	32,589	32,589	○	○	維持	維持	観光
	2 観光振興計画推進事業	290	290	▲	○	維持	維持	観光
	3 ほんもの体験観光のまち推進事業	5,326	5,326	○	○	見直し	維持	観光
	4 世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	1,411	1,411	○	○	維持	維持	観光
	5 観光の魅力づくり推進事業	39,823	129	○	○	維持	維持	観光
3 観光資源のネットワーク	6 水難対策事業	11,217	11,217	○	○	維持	維持	観光
	7 海浜等施設管理事業	23,352	23,352	○	○	見直し	維持	観光
	8 自然公園管理事業	14,665	5,895	○	○	維持	維持	観光
4 四季型滞在観光の推進	9 丹後周遊ボンネットバス運行事業	706	706	▲	○	見直し	維持	観光
	10 女性が創る観光のまち推進事業	417	327	○	○	廃止等	-	観光
	11 あじわいの郷支援事業	33,006	33,006	○	▲	維持	維持	観光
	12 指定管理施設運営事業	112,963	101,918	○	○	維持	維持	観光
	13 指定管理施設大規模改修事業	226	211	○	○	維持	拡大	観光
5 健康志向に対応した観光の推進	14 森の全国交流拠点運営事業	256	256	○	○	維持	維持	企画
7 情報発信の強化	15 オープンカレッジ丹後学推進事業	346	323	○	○	廃止等	縮小	企画
	16 まるごと観光情報システム構築事業	0	0	×	-	維持	縮小	情報
	17 観光宣伝事業	10,057	10,057	○	▲	維持	維持	観光
	18 観光サイン整備管理事業	581	581	○	○	維持	拡大	観光
8 交流の機会づくり	19 丹後半島駅伝大会開催事業	604	202	▲	○	見直し	拡大	丹後
	20 観光業等活性化推進事業補助金	1,000	1,000	○	○	維持	維持	観光
	21 丹後ウルトラマラソン開催事業	5,063	5,063	○	○	見直し	維持	観光
	22 地域活性化支援事業	1,000	1,000	○	○	維持	維持	観光
	計	294,898	234,859					

CHECK

①施策の達成度		施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
○	◎ 予定以上に進んでいる	理由	ほぼ全事業とも、予定通り当初目的は達成できている。ただ、中長期的に考え実施していく施策については、成果になかなか結びついてこない部分も見受けられる。
	○ 予定どおり進んでいる		
	▲ 少し遅れている		
	× 大幅に遅れている		

評価	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか			
	○	◎ 有効であった	理由 予定した事務事業は順調に実施できたが、急変した経済状況、それに伴って起こってきた社会変化に的確に適応しきれなかった。	
		○ おおむね有効であった		
		▲ あまり有効でなかった		
		× 有効でなかった		
	③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業6、8、12、13、19)			
	優先度 高い	事務事業		理由
		22	丹後ウルトラマラソン開催事業	昨年の宿泊者数2,500人。毎年参加者増加しており、シーズンオフの宿泊に貢献
		3	ほんもの体験観光のかち推進事業	今観光客から求められている体験観光の充実には、必要不可欠な分野
		5	観光の魅力づく推進事業	観光資源の充実、維持を図っていくに必要な事業
19		観光サイン整備管理事業	観光のまちを標榜しているが、観光サインはまだ不足している	
21		観光業等活性化推進事業補助金	民間活力の活用を行なうため、民間による観光客誘致事業への支援は必要	
1		観光協会等支援対策事業	設立3年目。財政基盤が脆弱なため当分の間は活動支援は必要。	
優先度 低い	事務事業		理由	
	11	女性が創る観光のまち推進事業	初期の目的達成、今後は女将さんの会が独立し、自主事業として活動	
	16	オープンカレッジ丹語学推進事業	参加したNPO主体で事業の実施(NPOの自立)	
	10	丹後周遊ボンネットバス運行事業	乗客が非常に少ないうえ、本来の目的である観光客の利用が少ない	
	18	観光宣伝事業	観光協会に委託している事業との精査必要(宣伝事業は観光協会にアウトソーシングに)	
	23	地域活性化支援事業	事業内容の精査必要	
	12	あじわいの郷支援事業	事業内容の精査必要	
8	海浜等施設管理事業	事業内容の精査必要		



**ACTION**

改善	今後の施策展開をどうするか
	観光は即効性を求められる施策と中長期的に考え実施していく施策の二面がある。当市の観光施策は観光業者の思い意見を大事に中長期的な展望を持ったものを大事にしながら現在の窮状を打破するための事業を展開していきたい。

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	京丹後ブランドの販売戦略
-----	--------------

担当部署	担当部署長の氏名
商工観光部	中村基彦

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	I 交流経済都市		
計画項目	(施策)	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略		
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	京丹後市の特産品の魅力を発展させるとともに、新しいブランド商品の開発やPR、市内外への販路開拓を積極的に進める。		
めざす目標	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標
	京丹後ブランドの販売促進を進めます	イベント・物産展数	15件 H16 63	H21 20件 H26

※参考 後期基本計画	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標
	めざす目標	京丹後ブランドの販売促進を進めます	15件 H16 45件	H20 60件 H26
	情報等PRの対象者を増やします	ふるさと応援団入団者数	新規 -	365人 H20 700人 H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
3 丹後の魅力発信拠点整備	1 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金	6,000	3,000	○	○	見直し	維持	産業
計		6,000	3,000					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	◎ 予定以上に進んでいる	理由 丹後地域地場産業センターを中心に、観光協会、商工会、行政が一体となり積極的に京丹後ブランドの販売促進に取り組んだ。
	○ 予定どおり進んでいる	
	▲ 少し遅れている	
× 大幅に遅れている		
◎	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか	
	◎ 有効であった	理由 積極的に販路開拓、販売促進に取り組む中、民間業者が独自に販売拠点の確保、販売先の確保に至ったケースも出てきている。
	○ おおむね有効であった	
	▲ あまり有効でなかった	
× 有効でなかった		

ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	京都堀川に設置している「ホット丹後」は、丹後地域地場産業振興センターの直営店(市補助有)となっているが、将来的には民間業者の直営(当面は市補助必要)へと転換していく必要がある。